

## 2014年西洋中世学会会員年間業績リスト（2014年1月～12月）

\* 広い意味での西洋中世（古代末期～近世、イスラーム、ユダヤ、中東アジアなども含む）に関する刊行された業績を、自己申告していただいたものです（氏名=五十音順）。

### ア

#### 阿部俊大（アベ トシヒロ）

[雑誌論文] "Del obispado condal al obispado autónomo: El desarrollo de la relación entre el Conde de Barcelona y la Iglesia como sistema de poder en el siglo XII", *Acta historica et archaeologica Mediaevalia*, (2011-2013), pp.163-188.

[翻訳] ジュゼップ・エルナンド「西欧中世における反イスラーム論：極めて困難な相互理解——ラモン・マルティの事例を中心に（上）」『言語文化論究』33号、149-159頁。

[書評] 佐藤公美『中世イタリアの地域と国家——紛争と平和の政治社会史——』『史学雑誌』123(9)、75-84頁。

#### 阿部善彦（アベ ヨシヒコ）

"The Symbol of Mountain in the Mystical Thought of Nicolaus Cusanus—Transfiguration in Mount Tabor in Sermo 176—", 上智哲学誌 24, pp. 17-23.

「キリスト教修道靈性伝統と創造的リフレイン——『教導講話』を誕生させた「コラチオ」をめぐる考察——」『研究論叢』（星美学園短期大学）46、1-24頁。

「西欧キリスト教思想における「偶然」と「必然」——「告白」的文学における「回心」、「出会い」の物語り性の視点から——」『国士館哲学』18、37-55頁。

「偽エックハルト文書と女性たちの靈性——中世から近世のキリスト教思想史におけるエックハルト受容の解明に向けて——」『日本カトリック神学会誌』25、135-163頁。

「ニコラウス・クザーヌスの教育思想——ルネサンスとデヴォチオ・モデルナの二つの精神的基盤の接点から見えてくるもの——」『カトリック教育研究』31、12-26頁。

[翻訳] 『マイスター・エックハルトの靈的姉妹カトライ』——研究と試訳『エクフラシス別冊』1、71-93頁。

「フライベルクのディートリッヒ『知性と可知的なものについて』（第一部）」『国士館哲学』18、121-146頁。

### イ

#### 池上俊一（イケガミ シュンイチ）

『公共善の彼方に——後期中世シエナの社会』（名古屋大学出版会）。

『ヨーロッパ中近世の兄弟会』（河原温との共編、編集および第2章「フランス」71-121頁担当、（東京大学出版会）。

「抒情の中世 31——美德像の変容」『究』（ミネルヴァ書房）34、40-43頁。

「抒情の中世 32——西洋抒情詩の濫觴」『究』（ミネルヴァ書房）35、40-43頁。

「抒情の中世 33——トゥルバドゥールと南仏世界」『究』（ミネルヴァ書房）36、40-43頁。

「抒情の中世 34——狩りの悦び」『究』（ミネルヴァ書房）37、40-43頁。

「抒情の中世 35——清新体派」『究』（ミネルヴァ書房）38、40-43頁。

「抒情の中世 36—モテトゥスの変容」『究』（ミネルヴァ書房）39、40-43 頁。

「ルゴフ先生への恩返し」『思想』（岩波書店）1083、129-133 頁。

「ドン・ファン伝説とヨーロッパ恋愛事情の変遷」新国立劇場、2014/2015 シーズンオペラ、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』プログラム解説、30-33 頁。

[翻訳]「ジャック・ルゴフ 最後のインタビュー（聞き手=ダニエラ・ロマニョーリ）」『思想』（岩波書店）1087、136-150 頁。

### 池上忠弘（イケガミ タダヒロ）

「通歴の宮廷歌人デーオルの嘆き」チョーサー研究会／狩野晃一編『チョーサーと中世を眺めて—チョーサー研究会 20 周年記念論文集』（麻生出版）201-217 頁。

[書評]「松原秀一／天沢退二郎／原野昇（編訳）『フランス中世文学名作選』（白水社）2013.

「フランス中世文学を巡る権威」『流域』（京都青山社）74、41-45 頁。

### 石田隆太（イシダ リュウタ）

「トマス・アキナスにおける「個」としての「人間」：「魂」の「個体化」を中心にして」『筑波哲学』（筑波大学哲学研究会）22、165-167 頁。

[翻訳]「トマス・アキナス『定期討論集 霊的被造物について』第一項 試訳」『宗教学・比較思想学論集』（筑波大学宗教学・比較思想学研究会）15、33-56 頁。

[翻訳]「トマス・アキナス『定期討論集 霊的被造物について』第二項 試訳」『筑波哲学』（筑波大学哲学研究会）22、129-153 頁。

### 伊藤亜紀（イトウ アキ）

[共訳] マリア・ジュゼッピーナ・ムツァレッリ『イタリア・モード小史』（知泉書館）。

### 井上浩一（イノウエ コウイチ）

「九世紀におけるビザンツ＝アラブ国境地域——テマ制度・捕虜交換・『ディゲニス・アクリタス』——」『鷹陵史学』40、13-26 頁。

[書評]「南川高志『新・ローマ帝国衰亡史』」『古代文化』65-4、132-134 頁。

### 今井澄子（イマイ スミコ）

「信心のモデル、自己称揚のモデル——ブルゴーニュ公フィリップ・ル・ボンの祈祷者像と初期フランドル絵画——」『大阪大谷大学紀要』48、1-21 頁。

「ニコラ・ロランの祈祷者像——《ポーヌの祭壇画》と祈祷者像の「モデル」をめぐって——」『大阪大谷大学文化財研究』14、1-25 頁。

### 伊能哲大（イノク アキヒロ）

「私は戒め、勧める」——フランチェスコの想い——」『日本カトリック神学会誌』25、185-204 頁。

## 岩波敦子（イワナミ アツコ）

「学知の旅、写本の旅 中世地中海世界における科学知の継受と伝播」長谷部史彦編『地中海世界の旅人 移動と記述の中近世史』（慶應義塾大学出版会）83-107 頁.

## 印出忠夫（インデ タダオ）

「異端禁圧から大逆罪へ—教令「ヴェルゲンティス・イン・セニウム」（1199年）の成立まで」甚野尚志・踊共二編『中近世ヨーロッパの宗教と政治—キリスト教世界の統一性と多元性—』（ミネルヴァ書房）.

## ウ

## 上田耕造（ウエダ コウゾウ）

『ブルボン公とフランス国王—中世後期フランスにおける諸侯と王権』（晃洋書房）.

## オ

## 大黒俊二（オオクロ シュンジ）

「「聖なる飛礫」からモンテ・ディ・ピエタへ—中世ウンブリアにおける異宗教共存—」『歴史評論』770、88-103 頁.

“From Ears to Hand, from Hand to Heart: Writing and Internalizing Preaching in Fifteenth-Century Florence,” in M. G. Muzzarelli (ed.), *From Words to Deeds. The Effectiveness of Preaching in the late Middle Ages*, Brepols, 2014, pp.47-64.

「文字のかなたに声を聴く—声からの／声に向けての史料論—」『歴史学研究』924、2-10 頁.

「マッダレーナ・ナルドゥッチの遺言書（1476年）—限界リテラシーの現れ方、現れるとき—」『社会言語学』XIV、45-55 頁.

[翻訳]（村上司樹との共訳）マウロ・カルボーニ「前近代社会における質屋と質業」『歴史評論』773、49-60 頁.

## 大嶋誠（オオシマ マコト）

「パリ大学成立史研究の展開と展望」『上智史学』（上智大学史学会）59、127-139 頁.

## 大貫俊夫（オオヌキ トシオ）

「回顧と展望 ヨーロッパ（中世 一般）」『史学雑誌』123(5)、311-313 頁.

「回顧と展望 ヨーロッパ（中世 中東欧・北欧）」『史学雑誌』123(5)、318-322 頁.

## 大沼由布（オオヌマ ユフ）

単行本（共著、共編著、分担執筆など）「幻想のアマゾン族」東雅夫・下楠昌哉責任編集『幻想と怪奇の英文学』（春風社）82-108 頁.

## 大原志麻（オオハラ シマ）

「ブランカ・デ・ナバーラ（1424-64）にみる、エブルー朝の正統性と政治文化」『人文論集』（静岡大学人文社会科学部）65、63-80 頁

### 岡北一孝（オカキタ イッコウ）

『ブラマンテ 盛期ルネサンス建築の構築者』（稲川直樹、桑木野幸司との共著、NTT 出版）。

「ジャンノッツォ・マネッティの『世俗と教皇庁の式典について』における建築的描写について」『日本建築学会計画系論文集』77 (649)、1221-1227 頁。

「*De re aedificatoria* における第十書の位置づけ -第一書と第十書をめぐって-」『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』54、673-676 頁。

「アルベルティの《vitium》について」、「日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集 F-2 建築歴史・意匠」、813-814 頁。

[新刊紹介] 「Annette hoffmann and Gerhard Wolf (eds.), *Jerusalem as narrative Space Erzählraum Jerusalem* [Visualising the Middle Ages, vol. 6], Leiden- Boston, Brill, 2012. 」『西洋中世研究』6、235-236 頁。

### 岡本広毅（オカモト ヒロキ）

“Wassail and History in the Middle English Romance *Havelok the Dane*.” *SIMELL. Studies in Medieval English Language and Literature* 29, pp. 51-68.

### 小澤実（オザワ ミノル）

*Proceedings of the International Workshop & Old Icelandic Texts in Medieval Northern Europe*, Tokyo: Rikkyo University.

『知のミクロコスモス 中世・ルネサンスのインテレクチュアル・ヒストリー』（ヒロ・ヒライと共編、中央公論新社）。

Were rune stones raised in Iceland? An attempt at historical interpretation, Minoru Ozawa (ed.), *Proceedings of the International Workshop & Old Icelandic Texts in Medieval Northern Europe*, Tokyo: Rikkyo University, pp. 35-40.

「ゴート・ルネサンスとルーン学の成立 デンマークの事例」ヒライ・小澤編『知のミクロコスモス 中世・ルネサンスのインテレクチュアル・ヒストリー』（中央公論新社）、69-97 頁。

「12 世紀変革論の現在」ジャイルズ・コンスタブル（高山博監訳）『十二世紀宗教改革 修道制の刷新と西洋中世社会』（慶應義塾大学出版会）、423-437 頁。

「序 大会シンポジウム「革命前後ロシア周辺諸国における歴史叙述」」『史苑』74(2)、49-50 頁。

「解説 ダレル・ラトキン「西洋占星術 中世後期から近代へ」」『史苑』74(2)、208-210 頁。

「国際ワークショップ「Old Icelandic texts in Medieval Northern Europe」を終えて ワークショップの記録と今後」『立教大学日本学研究所年報』12、93-105 頁。

「解説 ヨーン・カール・ヘルガソン（伊藤盡訳）『ヘイムスクリングラ』は誰が書いたのか？：作品と著者／分離執筆者」の複雑な関係」『北欧史研究』31、62 頁。

「修道院改革の時代」『工芸青花』1、49-51 頁。

[共訳]ジャイルズ・コンスタブル『十二世紀宗教改革 修道制の刷新と西洋中世社会』（高山博監訳／小澤実・函師宣忠・橋川裕之・村上司樹訳、慶應義塾大学出版会）。

[新刊紹介]「R.J.W. Evans & Guy P. Marchal (eds.), *The Uses of the Middle Ages in Modern European States. History, Nationhood and the Search for Origins* (Writing the Nation series). London: Palgrave Macmillan 2011, viii+296 p.」『西洋中世研究』6、227 頁。

[新刊紹介]「Patrick Gautier Dalche (ed.), *La terre. Connaissane, représentations, mesure au moyen*

*âge* (L'atelier du médiéviste 13). Turnhout: Brepols 2013, 710 p.] 『西洋中世研究』 6、230 頁。  
[新刊紹介] 「Jane F. Kershaw, *Viking Identities. Scandinavian Jewellery in England*. Oxford: Oxford UP 2013, xx+308 p.」 『西洋中世研究』 6、240 頁。

## カ

### 貝原哲生（カイバラ アキオ）

「コプトス主教ピセンティオス——6-7 世紀上エジプト社会における主教権力——」 『西洋史学』 252、1-19 頁。

### 加藤玄（カトウ マコト）

「中世後期の英仏関係とガスコーニュ」 『西洋史研究』 新輯 42、209-215 頁。

「中世フランスにおける「領域」史研究の現在」 『都市史研究』 1、135-142 頁。

### 加藤磨珠枝（カトウ マスエ）

「古代ローマから中世キリスト教美術にみる自然の転化」 仲間裕子／ハンス・ディッケル編 『自然の知覚 風景の構築。グローバル・パースペクティヴ』 (三元社) 80-103 頁。

[共訳] ラッファエレ・ミラーニ 『風景の美学』 (ブリュッケ)。

[新刊紹介] 「Roberto Cassanelli (a cura di), *Gerusalemme a Roma: La basilica do Santa Croce e le relique della Passione*,」 『西洋中世研究』 6、222-223 頁。

[学会報告] 「第十六回キリスト教考古学学会国際大会参加記」 『ソフィア』 (上智大学) 61(1)、53-61 頁。

### 加納修（カノウ オサム）

「メロヴィング朝の結婚命令書の消滅をめぐって」 *HERSETEC: Journal of Hermeneutic Study and Education of Textual Configuration*, 7, pp.1-24.

「中世の全体史を追い求めること（——ジャック・ル・ゴフ追悼——）」 『思想』 1083、144-148頁。

### 鴨野洋一郎（カモノ ヨウイチロウ）

「ヨーロッパ—中世—西欧・南欧 (2013 年の歴史学界——回顧と展望——)」 『史学雑誌』 123(5)、313-318 頁。

### 河野雄一（カワノ ユウイチ）

「エラスムスにおける「寛恕」と限界——時間的猶予における改善可能性——」 『法學政治學論究』 (慶應義塾大学法学研究科) 100、59-90 頁。

## キ

### 菊地智（キクチ サトシ）

*From Eckhart to Ruusbroec: A Critical Inheritance of Mystical Themes in the Fourteenth Century* (Leuven University Press)

[書評] Jeremiah M. Hackett (ed.), *A Companion to Meister Eckhart*, *Medieval Mystical Theology* 23(1), pp. 93-95.

### 菊地重仁（キクチ シゲト）

「中心と周縁を結ぶ：カロリング朝フランク王国における命令伝達・執行の諸相について」『西洋史研究 新輯』43、28-51頁。

「複合国家としてのフランク帝国における「改革」の試み：カール大帝皇帝戴冠直後の状況を中心に」『西洋中世研究』6、160-174頁。

[翻訳] H・ダレル・ラトキン「ヨーロッパ史のなかの占星術 中世・ルネサンスから近代へ」『史苑』74(2)、176-207頁。

[史料・文献紹介]「ハンス・K. シュルツェ著／小倉欣一・河野淳訳『西欧中世史事典Ⅲ—王権とその支配—』」『歴史学研究』923、61-62頁。

### 城戸毅（キド タケシ）

The English Occupation of Normandy and Norman Brigands, 1415-1450. *Soyang Chungsesa Yongu. Journal of Western Medieval History*, no.33(Hankuk Soyang Chungsesa Hakhoi. The Korean Society for Western Medieval History), pp.255-292.

## ク

### 久木田直江（クキタ ナオエ）

『医療と身体の図像学 宗教とジェンダーで読み解く西洋中世医学の文化史』（知泉書館）  
“The Virgin in the *Hortus conclusus*: Healing the Body and Healing the Soul”, *Medieval Feminist Forum*, 2014. 50(1), pp.11-32.

### 工藤義信（クドウ ヨシノブ）

Chaucer's *Second Nun's Tale* and the Problem of Lay and Religious Self-Formation. 『藝文研究』（慶應義塾大学藝文学会）106、1-16頁。

[新刊紹介]Cathy Hume, Chaucer and the Cultures of Love and Marriage. 『西洋中世研究』6、237-38頁。

### 久米順子（クメ ジュンコ）

「ベアトゥス写本挿絵にみる中世イベリア世界」吉田ゆり子・八尾師誠・千葉敏之編著『画像史料論 世界史の読み方』（東京外国語大学出版会）28-48頁。

### 栗原健（クリハラ ケン）

*Celestial Wonders in Reformation Germany*. (London: Pickering & Chatto)

### 黒川正剛（クロカワ マサタケ）

『魔女狩り—西欧の三つの近代化』（講談社）。

[書評]「森田安一著『木版画を読む：占星術・「死の舞踏」そして宗教改革』」『西洋史学』252、301-303頁。

## 桑原夏子 (クワバラ ナツコ)

[展覧会評] 「ドナテッロからリッピへ ——プラートの芸術工房」展『芸術学』(慶應義塾大学三田芸術学会) 17、67-79 頁.

## コ

### 児嶋由枝 (コジマ ヨシエ)

Insedimenti monastici nell' Emilia occidentale – il monastero benedettino di Castione Marchesi e i cistercensi, *Hortus Artium Medievalium. Journal of the International Research Center for Late Antiquity and Middle Ages*, XX, pp. 561-570.

「かくれキリシタン聖画考」『季刊 悠久』137, 97-111 頁.

「北イタリア後期ロマネスク聖堂扉口における「悔悛」と「赦し」——北イタリア中世自治都市国家と聖堂扉口彫刻図像」『上智史学』59, 59-80 頁.

Reproduction of the Image of Madonna Salus Populi Romani in Japan, *Between East and West: Reproductions in Art, Proceedings of the 2013 CIHA Colloquium* (Otsuka Museum of Art in Naruto, Japan, 15–18 January 2013), ed. S. Osano, Institute for Art Historical Research: Cracow, pp. 373-387.

### 小宮真樹子 (コミヤ マキコ)

「神の祝福か、悪魔の呪いか—魔術師マーリンの予言」東雅夫・下楠昌哉編『幻想と怪奇の英文学』(春風社) 109-130 頁.

## サ

### 佐伯 (片倉) 綾那 (サエキ (カタクラ) アヤナ)

「ビザンツ皇女アンナ・コムネナによるヨハネス2世コムネノス批判」『女性史学』24、12-27 頁.  
[新刊紹介] 「Leonora NEVILLE, Heroes and Romans in Twelfth-Century Byzantium: The Material for History of Nikephoros Bryennios」『西洋中世研究』6、242 頁.

### 酒井健 (サカイ タケシ)

Georges Bataille et la pensée apocalyptique - à partir du Beatus de Saint-Sever. 『法政大学文学部紀要』68、29-46 頁.

### 坂本邦暢 (サカモト クニノブ)

[論文] 「アリストテレスを救え——16世紀のスコラ学とスカリゲルの改革」ヒロ・ヒライ、小澤実編『知のミクロコスモス——中世ルネサンスのインテレクチュアル・ヒストリー』(中央公論新社) 252-279 頁.

「変容する存在の大いなる連鎖 中世とルネサンスにおける最善世界論」『西洋中世研究』6、71-87 頁.  
[解説] 「カルダーノ研究の最前線 本書の解説にかえて」榎本恵美子『天才カルダーノの肖像 ルネサンスの自叙伝、占星術、夢解釈』(勁草書房) 261-276 頁.

[書評] "Review of *The Secrets of Alchemy*, by Lawrence M. Principe," *Medical History* 58 (2014): 301-302.

### 櫻井康人（サクライ ヤスト）

「14～16 世紀前半の聖地巡礼記に見る「聖墳墓の騎士」——儀礼へのフランチェスコ会の関与過程を中心に——」長谷部史彦編著『地中海世界の旅人—移動と記述の中近世史—』（慶応義塾大学出版会）185-215 頁.

「無料で運ぶわけではないし、神の愛のために運ぶわけでもない」——中世におけるヴェネツィア・ガレー巡礼船のパトロンたち——」『史林』97(1)、36-74 頁.

「1531 年～1550 年の聖地巡礼記に見るイスラーム観・ムスリム観・十字軍観——後期十字軍再考（7）——」『ヨーロッパ文化史研究』15、73-97 頁.

「十字軍国家における農村支配構造とその変容」『東北学院大学論集 歴史と文化（旧歴史学・地理学）』52、73-95 頁.

[書評]「A・ジョティシユキー著、森田安一訳『十字軍の歴史』」『西洋史学』253、65-67 頁.

### 佐々木徹（ササキ トオル）

「ペルソナの固有名—基礎神学的素描」『茨城キリスト教大学紀要』（茨城キリスト教大学）48、105-120 頁.

### 佐々木博光（ササキ ヒロミツ）

[書評]「三佐川亮宏『ドイツ史の始まり——中世ローマ帝国とドイツ人のエトノス生成』——」『西洋史学』2013 年、252、77-79 頁.

### 佐藤彰一（サトウ ショウイチ）

『禁欲のヨーロッパ——修道院の起源』（中央公論新社）

「未刊の翻訳書のための広告」『學士會報』904、63-67 頁.

[新刊紹介]「Ellen F. ARNOLD, Negotiating the Landscape : Environment and Monastic Identity in the Medieval Ardennes, Philadelphia.」『西洋中世研究』6、214-215 頁.

「Peter BROWN, Through the Eye of a Needle : Wealth, the Fall of Rome, and the Making of Christianity in the West, 350-550 AD.」『西洋中世研究』6、218-219 頁.

「Christophe CAMBY, Wergeld ou uueregildus : Le rachat pécuniaire de l'offence entre continuités romaines et innovation germanique.」『西洋中世研究』6、219-220 頁.

### 佐藤猛（サトウ タケシ）

[書評]「薮本将典「自治都市トゥルーズにおける上訴制の確立とカペー朝期親王領政策の諸相——上訴裁判権をめぐる執政官府と伯代官の抗争を中心に——（法学研究 85-4）」『法制史研究』63、296-298 頁.

シ

### 斯波照雄（シバ テルオ）

「中世末期グライフスヴァルトの財政」『商学論纂』（中央大学）.



## 白幡俊輔（シラハタ シュンスケ）

「建築十書ウィトルウィウス」「建築論フランチェスコ・ディ・ジョルジョ」加藤哲弘編『芸術理論古典文献アンソロジー 西洋篇』（京都造形芸術大学・東北芸術工科大学出版局芸術学舎）芸術教養シリーズ 28、35-42 頁、99-106 頁.

「中世ヨーロッパ軍隊の移動手段の選択における技術的・文化的背景——1494 年のシャルル八世によるイタリア侵攻を実例に——」『Zero Carbon Society 研究センター紀要』（関西学院大学 Zero Carbon Society 研究センター）、2-3、1-12 頁.

「エステ家君主の産業・軍事戦略と理想都市——16 世紀フェッラーラの大砲製造の事例から——」、『戦略研究』（戦略研究学会）、14、79-97 頁.

## ス

### 図師宣忠（ズシ ノブタダ）

‘Negotiations and the Use of Documents in 13th Century Toulouse’, in: Yoshihisa Hattori (ed.), *Political Order and Forms of Communication in Medieval and Early Modern Europe* (Viella), pp. 213-229.

‘Comments on Gerd Althoff’, in: Yoshihisa Hattori (ed.), *Political Order and Forms of Communication in Medieval and Early Modern Europe* (Viella), pp. 52-61.

[共訳]ジャイルズ・コンスタブル『十二世紀宗教改革』（慶應義塾大学出版会）.

### 鈴木道也（スズキ ミチヤ）

French National Identity through Medieval Chronicles- Rise of Vernacular Prose Historiography, 『西洋中世史研究』（大韓民国）33、179-207 頁.

Medieval Encyclopedias and The Kingship in France, Proceedings of The 7th International Conference on the Medieval Chronicle, pp. 52-65.

「裁判記事の誕生-中世フランスにおける法実践とその記録」『歴史と地理 世界史の研究』241、26-33 頁.

[新刊紹介]「Sylvain VENAYRE, *Les Origines de la France: Quand les historiens racontaient la nation*, Paris, Seuil, 2013, 448p., €25.」『西洋中世研究』6、253 頁.

## セ

### 関哲行（セキ テツユキ）

「第 15 章 近世スペインにおけるモリスコ問題——同化と異化の狭間に——」甚野尚志、踊共二編著『中近世ヨーロッパの宗教と政治——キリスト教世界の統一性と多元性——』（ミネルヴァ書房）320-321、345-68 頁.

「中近世イベリア半島における宗教的マイノリティーの移動——ユダヤ人とコンベルソ、マラーノを中心に」長谷部史彦編著『地中海世界の旅人——移動と記述の中近世史』（慶應義塾大学言語文化研究所）1-23 頁.

「第 6 章 スペイン」河原温、池上俊一編『ヨーロッパ中近世の兄弟会』（東京大学出版会）313-355 頁.

### 瀬戸直彦（セト ナオヒコ）

「原作と現存写本の間で—フォルケ・ド・マルセイユの校訂におけるスキラチョーティの方法」『Etudes

Françaises』(早稲田フランス語フランス文学論集) 21, 57-78 頁.

Naohiko SETO, Messages ambigus dans le diptyque de l'étourneau (Marcabru, PC 293, 25-26), *Los que fan viure e treslusir l'occitan, Actes du 10e congrès international de l'AIEO, Beziers, 12-19 juin 2011*, pp.304-312.

[共訳] 「トルバドゥール」「トルヴェール」『フランス中世文学名作選』(白水社) 57-98 頁.

### 瀬谷幸男 (セヤ ユキオ)

[翻訳] ウォルター・マップ『宮廷人の閑話—中世ラテン綺譚集—』(論創社).

## ソ

### 苑田亜矢 (ソノダ アヤ)

「一二世紀イングランドにおける教会裁判手続と起訴陪審制の成立」『熊本法学』130、195-248 頁.

## タ

### 高田京比子 (タカダ ケイコ)

Comments (on Giorgio Chittolini), *Political Order and Forms of Communication in Medieval and Early Modern Europe*, (ed. Yoshihisa Hattori, Roma, Viella, pp.133-144.

「13世紀のヴェネツィア支配層と騎士」『神戸大学文学部紀要』41、121-142 頁.

### 高名康文 (タカナ ヤスフミ)

『『パレルモのギョーム』と『狐物語』—ジャンルのパロディーについての一考察—』『ヨーロッパ文化研究』(成城大学大学院文学研究科) 33、202-248 頁.

「フランス中世文学における森」成城大学文芸学部ヨーロッパ文化学科編『ヨーロッパと自然』(成城大学文芸学部) 25-48 頁.

[翻訳] N.ラベール、B.セール『100語でわかる西欧中世』(白水社).

[翻訳] 「1200年から1260年頃までのトルバドゥールの哀悼歌 (planh) の翻訳」『成城文藝』(成城大学文芸学部) 228、90(1)-63(28)頁.

### 高野禎子 (タカノ ヨシコ)

『Répertoire des vitraux du Moyen Age figurant la Vie de saint Jean l'Évangéliste en France et en Angleterre』

『新プラトン主義を学ぶ人のために』(水地宗明他編、堀江聡、熊田陽一郎他との共著、世界思想社).

「シャルトル大聖堂の彫刻と出会う (8) ——聖マルティヌス像——」『清泉文苑』31、64-68 頁.

[新刊紹介] 「Françoise Perrot, La Sainte-Chapelle de Paris.」『西洋中世研究』6、245-246 頁.

### 高山博 (タカヤマ ヒロシ)

「中世シチリアにおける農民の階層区分」『西洋中世研究』6、141-159 頁.

The Administration of Roger I: Foundation of the Norman Administrative System. *Bausteine zur deutschen und italienischen Geschichte. Festschrift zum 70. Geburtstag von Horst Enzensberger*,

herausgegeben von M. Stuiber & M. Spadaccini (Bamberg, University of Bamberg Press), pp. 391-408.

[監訳] ジャイルズ・コンスタブル著『十二世紀宗教改革』(慶應義塾大学出版会).

[書評] 「モーリー・グリーン著『海賊と商人の地中海』」『日本経済新聞』6月29日(日)朝刊.

### 武田啓佑 (タケダ ケイスケ)

[書評] 「Peters, Gretchen, *The Musical Sounds of Medieval French Cities: Players, Patrons, and Politics*」『エクフラシス』4、147-48頁.

[新刊紹介] 「ベルンハルト・モールバッハ著、井本响二訳『中世の音楽世界——テキスト、音、図像による新たな体験』」『史学雑誌』123(12)、110-111頁.

### 田口正樹 (タグチ マサキ)

「中世後期ドイツにおけるライン宮中伯の領邦支配とヘゲモニー (3)」『北大法学論集』64(5)、23-65頁.

「中世後期ドイツにおけるライン宮中伯の領邦支配とヘゲモニー (4・完)」『北大法学論集』64(6)、1-38頁.

[翻訳] ベルント・カノフスキ「ハインリヒ獅子公に対する訴訟」U・ファルク/M・ルミナティ/M・シュメーケル編著(小川浩三/福田誠治/松本尚子監訳)『ヨーロッパ史のなかの裁判事例 ケースから学ぶ西洋法制史』(ミネルヴァ書房)149-166頁.

[翻訳] ペーター・エストマン「忘れっぽい代弁人——中世後期の裁判に関するケーススタディ——」U・ファルク/M・ルミナティ/M・シュメーケル編著(小川浩三/福田誠治/松本尚子監訳)『ヨーロッパ史のなかの裁判事例 ケースから学ぶ西洋法制史』(ミネルヴァ書房)215-234頁.

[新刊紹介] 「Robert Gramsch, *Das Reich als Netzwerk der Fürsten: Politische Strukturen unter dem Doppelkönigtum Friedrichs II. und Heinrichs (VII.) 1225-1235*」『西洋中世研究』6、231-232頁.

[新刊紹介] 「Franz Fuchs, Paul-Joachim Heinig und Martin Wagendorfer (eds.), *König und Kanzlist, Kaiser und Papst: Friedrich III. und Enea Silvio Piccolomini in Wiener Neustadt.*」『西洋中世研究』6、228頁.

### 田島篤史 (タジマ アツシ)

[共訳] 「イェルク・ヴィクラム『少年の鑑』(1554年)」『関西大学西洋史論叢』(関西大学大学院文学研究科史学専攻西洋史専修)17、20-32頁.

### 多田哲 (タダ サトシ)

『ヨーロッパ中世の民衆教化と聖人崇敬——カロリング時代のオルレアンとリエージュ』(創文社).

「カロリング時代における巡礼批判」『メトリポリタン史学』(メトリポリタン史学会)10、57-78頁.

### 田中圭子 (タナカ ケイコ)

「コンラート・ツェルティスの『ディーナーナ劇』とマクシミリアン1世」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』51、43-57頁.

### 田中俊之 (タナカ トシユキ)

「15 世紀後半バーゼル農村部におけるハプスブルク系在地貴族——未刊行史料の活字化と分析——」  
『金沢大学歴史言語文化学系論集 [史学・考古学篇]』(金沢大学歴史言語文化学系) 6、103-128 頁.

### 田中美穂 (タナカ ミホ)

「中世後期アイルランドの世俗権力者たちと修道院」『エール (アイルランド研究)』33、181-194 頁.

[書評]「有光秀行『中世ブリテン諸島史研究——ネイション意識の諸相——』」『エール (アイルランド研究)』33、252-256 頁.

「アイルランド人の起源をめぐる諸研究と「ケルト」問題」『大分工業高等専門学校紀要』51、1-6 頁.  
([http://www.oita-ct.ac.jp/library/public/kiyo-51\\_pdf/No51\\_kiyo\\_1.pdf](http://www.oita-ct.ac.jp/library/public/kiyo-51_pdf/No51_kiyo_1.pdf) Web 上でのみ公開)

### 田辺清 (タナベ キヨシ)

「天心とイタリア・ルネサンス——ラファエッロ評をめぐる——」大東文化大学東洋研究所・岡倉天心研究班(代表 田辺清)編著『岡倉天心——伝統と革新——』(大東文化大学東洋研究所) 37-48 頁.

### 田辺めぐみ (タナベ メグミ)

「子宝祈願の遺産—ブルターニュ公継承問題をめぐって—」『ステラ』(九州大学フランス語フランス文学研究会) 33、159-174 頁.

### 俵章浩 (タワラ アキヒロ)

Avicenna's Denial of Life in Plants. *Arabic Sciences and Philosophy* 24, pp.127-138.

「サービト・イブン・クッラの『微細な物体』の教説に対するイブン・スィーナーの批判」『慶應義塾大学 言語文化研究所紀要』45、57-71 頁.

## チ

### 千葉敏之 (チバ トシユキ)

『画像史料論—世界史の読み方』(吉田ゆり子、八尾師誠との共編、東京外国語大学出版社).

『ドイツ史研究入門』(木村靖二、西山暁義との共編、山川出版社).

### 地村彰之 (チムラ アキユキ)

Some Notes on Idiomatic Expressions in the History of English: With Special Reference to 'meat and drink'. *Studies in Middle and Modern English: Historical Change (Studies in the History of the English Language, 2014)*, Osaka: Osaka Books Ltd, pp. 115-32.

## ツ

### 辻部 (藤川) 亮子 (ツジベ (フジカワ) リョウコ)

「「至純の愛」再考—オイル語宮廷風恋愛歌のレトリック解析を通じて」『西洋中世研究』6、175-193

頁.

[新刊紹介]「Pierre Bec (éd.), *L'Amour au Féminin : les Femmes-Troubadours et leurs Chansons.*」『西洋中世研究』6、215 頁.

「Claudio Galderisi (dir.), *Translations médiévales : cinq siècles de traductions en français au Moyen Âge (XIe-XVe siècles) : étude et répertoire.*」『西洋中世研究』6、229 頁.

### 津田拓郎 (ツダ タクロウ)

「カロリング期の統治行為における文書利用——シャルルマーニュ期は『カピトゥラリアの最盛期』だったのか」『史学雑誌』(史学会) 123(2)、35-60 頁.

「西フランク王国の統治行為における文書利用——いわゆる『カピトゥラリア』を中心に」『エクフラシス』(早稲田大学ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所) 4、13-28 頁.

### 常見信代 (ツネミ ノブヨ)

『ケルト教会』と復活祭論争」『人文学論集』(北海学園大学人文学部) 57、1-87 頁.

テ

### 寺田龍男 (テラダ タツオ)

「中世ドイツ文学の研究と教育——『ニーベルンゲンの歌』をめぐる近年の学術出版状況から——」『北海道大学大学院教育学研究院紀要』121、1-15 頁.

ト

### 徳永聡子 (トクナガ サトコ)

『世界を読み解く一冊の本』(松田隆美との共編、慶應義塾大学出版会)

Gutenberg Meets Digitization: The Path of a Digital Ambassador. *Literary and Learned: Texts in Transition in the Later Middle Ages, a Festschrift Dedicated to Toshiyuki Takamiya on his 70th Birthday*, ed. by Simon Horobin and Linne R. Mooney (with Takako Kato, York Medieval Press, 2014), pp. 297-305.

Reflecting Fifteenth-Century Hearts and Seventeenth-Century Minds. *Emprynted in thys manere: Early Printed Treasures from Cambridge University Library*, ed. by Ed Potten and Emily Dourish (Cambridge University Library, 2014), pp. 94-95.

Rubrication in Caxton's Early English Books, c. 1476–1478. *Incunabula on the Move: The Production, Circulation and Collection of Early Printed Books* (Ed Potten との共編、*Transactions of the Bibliographical Society*, 15.1, 2012 [for 2014]), pp. 59-78.

### 徳橋曜 (トクハシ ヨウ)

「中世の西欧における災害の記録と意識」『新しい歴史学のために』284、33-52 頁.

「中世イタリア社会における債務の重み」『歴史評論』773、61-77 頁.

「15世紀イタリアの文化動向と書籍販売」『西洋中世研究』6、27-50 頁.

## ナ

### 直江眞一（ナオエ シンイチ）

「アレクサンデル3世期における婚姻法——1177年6月30日付ファウンテン修道院長およびマギステル・ヴァカリウス宛教令をてがかりとして——」『法政研究』81-(3)、129-160頁。

「ジョン・フォーテスキュー著『ランカスター家の権利の弁護』（邦訳）」『法政研究』80-(4)、27-45頁。

### 永嶋哲也（ナガシマ テツヤ）

「エロイーズ書翰に見る中世修辞学としての書翰作文術」『中世思想研究』56、90-101頁

「偽善における徳の偽装と自己満足——ネット言説とトマス・アキナスを手がかりにして——」『人間と医療』（九州医学哲学・倫理学会）4、28-34頁。

〔書評〕「論理学史の中で過小評価を排したボエティウス像を描出する — Taki Suto, *Boethius on Mind, Grammar and Logic: A Study of Boethius' Commentaries on Peri Hermeneias*, Brill Academic Pub., 2011」『西日本哲学年報』（西日本哲学会）22、131-136頁。

### 仲田公輔（ナカダ コウスケ）

Byzantine–Bagration Negotiations Concerning the City of Artanuji: An Analysis on the Caucasian Chapters of Constantine VII's *De Administrando Imperio*. 3<sup>rd</sup> International Conference *Tao–Klarjeti: Abstract of Papers*, Tbilisi, pp. 183-185.

「9世紀後半から10世紀初頭におけるビザンツ帝国東方辺境とアルメニア人——リュカンドス地方を中心に」『歴史学研究月報』654、4-6頁。

### 中西恭子（ナカニシ キョウコ）

〔雑誌論文〕「ユリアヌスの「ギリシア人の宗教」とナジアンゾスのグレゴリオス『ユリアヌス駁論』における「ことば」と「真の愛智」、『パトリスティカ』17、173-192頁。

「幻影の人の叢林をゆく——西脇順三郎から見た折口信夫」『総特集・折口信夫』『現代思想』180-198頁。

「邂逅を書くところ、境界を越える者——歴史小説を書く折口信夫」『特集・折口信夫』『三田文学』119、196-203頁。

### 奈良澤由美（ナラサワ ユミ）

「聖なる形：ナルボンヌの『聖墳墓のメモリア』をめぐる研究」『鹿島美術研究』31(別冊)、31-44頁。

「エウカリスティアの祭儀の典礼空間における聖性の強調と信徒の参加 フランスの事例を中心に」『西洋美術研究』18、54-75頁。

## ハ

### 橋爪烈（ハシヅメ レツ）

〔単行本（分担執筆）〕「「正統カリフ」概念の形成——スンナ派政治思想史の一断面として——」『中東の思想と社会を読み解く』（東京大学中東地域研究センター）45-73頁。

〔共訳〕フレッド・M・ドナー著『イスラームの誕生——信仰者からムスリムへ』（監訳者：後藤明、共訳者：亀谷学、松本隆志、横内吾郎、慶應義塾大学出版会）

### 濱西雅子 (ハマニシ マサコ)

「初期キリスト教時代から中世の美術」『西洋の美術 — 造形表現の歴史と思想』(菊地健三、島津京との共著、晶文社)、245-350 頁.

### 原田晶子 (ハラダ アキコ)

Die Symbiose von Kirche und Stadt im Spätmittelalter: Das bürgerliche Gemeinschaftsbewusstsein und Stiftungen an die Pfarrkirchen in der Reichsstadt Nürnberg. Verlag Dr. Kovač: Hamburg.

Social Identity in a Late Medieval German City: Donations of the Burghers to the Church in Nuremberg. *Journal of Western Medieval History* 33, pp. 31-51.

## ヒ

### 久松英二 (ヒサマツ エイジ)

「ギリシア正教 地中海から世界へ」宗教情報センター編『変わり続けるキリスト教の不思議』(もつとよくわかる世界宗教2キリスト教編)(宗教情報センター) 63-135 頁.

### 平井真希子 (ヒライ マキコ)

[新刊紹介]「Charles H. Cosgrove, *An Ancient Christian Hymn with Musical Notation: Papyrus Oxyrhynchus 1786: Text and Commentary.*」『西洋中世研究』6、223-224 頁.

## フ

### 藤井真生 (フジイ マサオ)

『中世チェコ国家の誕生——君主・貴族・共同体』(昭和堂).

「イタリア司教の目に映った 15 世紀のチェコ——エネアのボヘミア・レポートとその背景」長谷部史彦編著『地中海世界の旅人—移動と記述の中近世史』(慶應義塾大学出版会) 55-81 頁.

「東欧、とりわけチェコにおける民衆運動の脈流」マクシミリアン・リュベル&ジョン・クランプ編(角田史幸・藤井真生訳)『市場なき社会主義の系譜』(現代思潮新社) 296-304 頁.

### 藤崎衛 (フジサキ マモル)

「「地中海の庭」に育まれて——地中海学会ヘレンド賞の受賞にあたり」『地中海学会月報』373、4 頁.

[翻訳]「1462 年ローマにおける救世主イコンの行列次第」『西洋美術研究』19、179-183 頁.

[書評] Fulvio Delle Donne, *Federico II: la condanna della memoria. Metamorfosi di un mito* 『西洋中世研究』6、224 頁.

### 舟橋倫子 (フナハシ ミチコ)

「中世ブリュッセルの都市と宗教——ミッシュル・ヴィシュマールの遺言書を素材として——」中央大学人文科学研究所編『アフロ・ユーラシア大陸の都市と国家』(中央大学出版部) 539-567 頁.

## ホ

### 細田あや子 (ホソダ アヤコ)

「異時空間を往還するキリストの身体」栗原隆編『感性学——触れ合う心・感じる身体』（東北大学出版会）213-235 頁.

「ハインリヒ・ゾイゼのヴィジョン」河東仁編『夢と幻視の宗教史』下巻（リトン）167-199 頁.

### 堀越宏一 (ホリコシ コウイチ)

[翻訳]「Hervé Mouillebouche, *Palais ducal de Dijon. Le logis de Philippe le Bon*, Dijon, Centre de Castellologie de Bourgogne, 2014」の日本語要旨.

[書評]「佐藤猛『百年戦争期フランス国制史研究』」『歴史学研究』916、57-59,62 頁.

## マ

### 松根伸治 (マツネ シンジ)

「十三世紀末の主知主義論争——フォンテーヌのゴドフロワの立場」『アルケー』（関西哲学会）22、157-167 頁.

「トマス・アクィナスと徳の定義」『中世哲学研究』33、23-46 頁.

[翻訳]トマス・アクィナス『悪について』第8問第2~4項・高慢『アカデミア』人文・自然科学編（南山大学）8、165-184 頁.

## ミ

### 三佐川 亮宏 (ミサガワ アキヒロ)

「ヨーロッパ中世前期のエスニシティ——中世ドイツ人のアイデンティティ」『歴史と地理・世界史の研究』240、256-59 頁.

### 宮城徹 (ミヤギ トオル)

「11世紀後期 Crowland 修道院の所領景観」『地理歴史人類学論集』（琉球大学法文学部人間科学科紀要別冊）5、71-88 頁.

## ム

### 向井伸哉 (ムカイ シンヤ)

“Histoire d'une communauté villageoise au miroir des portes et des murailles : le village de Capestang sous l'Ancien Régime”, in *Histoire de territoires dans le Languedoc médiéval et moderne* (Actes du colloque international, 11 et 12 octobre 2014, Maison franco-japonaise, Tokyo), Tokyo, p. 3-10.

### 村田光司 (ムラタ コウジ)

「トロス司教座聖堂発掘報告（2013）——出土貨幣及び封緘について」『史苑』74-2、158-167 頁.

[共訳]「プロコピオス『秘史』——翻訳と註(2)」『早稲田大学高等研究所紀要』6、77-97 頁.

[新刊紹介]「Alexander Beihammer et al. (eds.), *Court Ceremonies and Rituals of Power in Byzantium and the medieval Mediterranean: comparative perspectives*, Leiden, Brill, 2013」『西洋



中世研究』6、216頁。

[新刊紹介]「Lisa Bénou, Pour une nouvelle histoire du droit byzantine. Théorie et pratique juridiques au XIVe siècle, Paris, Association Pierre Belon, 2011」『西洋中世研究』6、217頁。

### 村上寛 (ムラカミ ヒロシ)

『アルベルトゥス・マグヌス記録』翻訳『エクフラシス 別冊』(ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所) 1、55-70頁。

「マルグリット・ポレートの『単純な魂の鏡』における「滅却された魂」論——意志と愛、知性と認識の観点から——」早稲田大学文学学術院文学研究科、博士学位請求論文。

## モ

### 本橋瞳 (モトハシ ヒトミ)

「ロヒール・ファン・デル・ウェイデン作《七秘蹟祭壇画》研究」博士(文学)学位論文(立教大学大学院キリスト教学研究科)。

[新刊紹介]「Lorne CAMPBELL, Jan VAN DER STOCK, Catherine REYNOLDS & Lieve WATTEEUW (eds.), Rogier van der Weyden in Context, Papers presented at Seventeenth Symposium for the Study of Underdrawing and Technology in Painting held in Leuven, 22-24 October 2009, Paris-Leuven-Walpole, 2012, xii+402p., €90.」『西洋中世学会』6、220-1頁。

## ヤ

### 山内志朗 (ヤマウチ シロウ)

[共訳] エティエンヌ・ジルソン『キリスト教哲学入門』(慶應義塾出版会)。

### 山田雅彦 (ヤマダ マサヒコ)

[翻訳] トマ・ブルネール「中世北西ヨーロッパにおける都市当局の公証制度」臼井佐知子、H.ジャン・エルキン、岡崎敦、金炫栄、渡辺浩一編『契約と紛争の比較史料学』(吉川弘文館) 317-331頁。

[書評]「佐藤公美著『中世イタリアの地域と国家——紛争と平和の政治社会史——』」『西洋史学論集』(九州西洋史学会) 51、37-40頁。

## ヨ

### 吉川文 (ヨシカワ アヤ)

[新刊紹介]「John Haines, *Music in Films on the Middle Ages: Authenticity vs. Fantasy.*」『西洋中世研究』6、233-234頁。

## ラ

### 頼順子 (ライ ジュンコ)

[共訳] コレット・ボーヌ『幻想のジャンヌ・ダルク』(昭和堂)。